

地域計画策定に係る協議実施状況

実施日	地区	参加人数	主な意見・要望
R7.11.11	古城・中和・萬歳	23	<p>○農業生産の維持について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アボカドの栽培をしている。農機具の貸出や手入れの支援があるといい。 ・ＪＡがもっと主体的に事業を行い、補助金の受け皿となるべきだ。 ・補助事業の情報を農業者に分かりやすく公開してほしい。 ・行政側で農地の交換や割り当てをしないと集積が進まないと思う。 ・農地ナビで耕作者や貸出意向を共有できるからきちんと活用すべき。 <p>○耕作放棄地について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北総東部土地改良区管内の谷津田が問題。耕作条件が悪く、借り手がない。 ・谷津田は収量が少なく、費用対効果がよくない。田んぼが深くて、道路も狭く、機械が大型化できない。 ・農家も高齢化しており、機械の費用などが回収できない。 ・良い田でも周囲の山林から木が伸びて耕作しづらくなる。 ・水路が古く壊れているところもある。 ・枝払いや水路の補修を簡単でいいからやってもらいたい。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鎭木地区は毎年作物が変わるところも多く、10年先は見通せない。 ・農業委員会だよりに農地耕作者募集の広告を掲載したらよい。 ・匝瑳市が補助事業をうまく活用しているという噂を聞いたので参考にしたらよい。 ・農地中間管理事業などの制度の周知が足りない。

実施日	地区	参加人数	主な意見・要望
R7.11.25	中央・矢指・富浦	23	<p>○農業生産の維持について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうやって農業者を増やすか、耕作地を増やすかという入口の話ばかりだが、いかに収入を確保するかという出口の方が重要だと思う。稼げるようになれば耕作放棄地や集約の問題はおのずと解決するのでは。国がしっかり手当てすべきだと思う。 ・収入面や労働環境の面で農業に魅力がなさ過ぎる。楽しくないし、儲からない。 <p>○耕作放棄地について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前あった県の解消事業を復活させてほしい。 ・「人材バンク」のような仕組みを作り、機械は行政が用意するなどの支援があれば、耕作放棄地は減るのではないか。 ・地域で誰かがリーダーシップを取り、耕作地の割り振りが可能となれば、耕作放棄地を防ぐことができるのではないか。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身の地区では実際に交錯しているのが5人程度という危機的な状況にあり、今後さらに耕作者が減少することを危惧している。 ・現行の計画は「絵に描いた餅」に過ぎない。農家間の交渉には感情的な側面が伴う。市が仲介に入るなど、より積極的な働きかけがなければ話は進まない。 ・入口である農地集約よりも、出口である米価の安定や経営保障といった収益性の確保が最優先課題である。経営が黒字になるような国の本気な対策があれば、耕作放棄地や担い手問題は自ずと解決に向かうはずである。 ・「官による運営」として、公社のような組織が新規就農者や移住者を受け入れ、耕作放棄地や空きハウスを活用する取り組みを進めてはどうか。

実施日	地区	参加人数	主な意見・要望
R7.11.27	飯岡・三川	12	<p>○地域計画の現状・課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域計画のコンセプトは。どういう話をすればいいのか。 ・相対では集積率が上がらないのか。農業者が減れば勝手に集積は進むのでは。 ・こういった話し合いの場はあるようで無いから、必要なことだと思う。 <p>○農業生産の維持について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣対策を強化してほしい。 ・農家のイメージが悪く、嫁に来る人がいない。 ・研修会や映画鑑賞会など、集まって勉強したり楽しんだりして仲間づくりができる組織が必要だと思う。 <p>○耕作放棄地について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10年ほど前解消事業を断られ、要件が厳しすぎと思った。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東総用水への接続の際必要な工事費を助成して欲しい。
R7.12.2	共和・琴田・豊畑・干潟	25	<p>○地域計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集積を進めるということは、農家をやめろということか。 ・農業で稼げるようになれば集積集約しなくてもいいのでは。 <p>○農業生産の維持について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農作物価格が上がらないと、いくら議論しても意味がない。 ・儲からないなら公営化も必要ではないか。 <p>○耕作放棄地について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公社を立ち上げて耕作放棄地や空きハウスを活用、収穫したものを学校給食で提供したらどうか。 ・耕作放棄地の解消に協力できる人材バンクを設立し、機械を補助金で整備することで解消をすすめられるのではないか。 ・地域で誰かが音頭を取って、農地の割り振りができれば減らせるのでは。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地中間管理機構を知らない。P Rが足りていない。 ・深い水田を改良できるような事業はないか。

実施日	地区	参加人数	主な意見・要望
R7.12.11	嚶鳴・鶴巻・滝郷	20	<p>○地域計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センサスの調査で、農業者が死亡した後、家族が農地の存在を把握していないことがあった。農地の現況、所有者の情報を把握する仕組みが必要と感じた。 ・滝郷地区は田と畑を分ければ集積率を上げられると思う。 <p>○農業生産の維持について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旭農を拠点に全国から人材を集めたり、育成してはどうか。 ・海外研修など積極的にやって地域を引っ張る人材の育成が必要だ。 ・農業の努力を価格に反映できる施策を国のほうでも取ってほしい。 ・親元就農チャレンジの就労期間が厳しく、状況を加味してほしい。 ・畜産にあこがれる人をどう増やすか考えてほしい。 <p>○耕作放棄地について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旭農の農地が耕作放棄地となっており、迷惑している。 ・数年前、岩井の谷津田の耕作放棄地を解消しようとしたとき、川下が銚子市で農振から除外されており、県の事業が実施できなかった。水はけをよくする事業ができるとよい。